



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東
 コード番号 6730 URL <https://www.axell.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 昭宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理グループ (氏名) 植野 悦匡 TEL 03-5298-1670
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,061	40.6	864	71.3	893	70.6	701	66.5
2022年3月期第2四半期	5,021	17.8	504	87.1	523	74.9	421	81.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 673百万円 (76.1%) 2022年3月期第2四半期 382百万円 (31.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	64.72	—
2022年3月期第2四半期	38.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	12,967	10,899	83.3	995.15
2022年3月期	12,274	10,629	86.0	974.54

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,804百万円 2022年3月期 10,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	63.00	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当47円 記念配当16円（上場20周年記念配当）

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,400	25.6	1,220	45.4	1,360	35.7	1,020	17.8	93.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	11,211,989株	2022年3月期	11,211,989株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	354,697株	2022年3月期	383,597株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	10,835,656株	2022年3月期2Q	10,804,101株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. その他	10
最近における四半期毎の業績の推移	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が着実に普及し、社会経済活動が正常化に向かいつつあるものの、ウクライナ情勢の長期化をはじめとして、半導体の供給不足や世界的な資源価格の高騰、さらにはインフレ懸念など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、新台の年間販売台数が低減傾向を示すなど厳しい市場環境が続いておりましたが、市場の縮小傾向は2020年度に底を打ったものと分析しております。また、スマートパチンコ・スロット等の次世代遊技機の市場投入が予定されており、当連結会計年度におきましては底堅く推移するものと分析しております。

かかる環境の中で当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、パチンコ・パチスロ機市場での安定収益確保に向けた取り組み、組み込み機器市場（注1）に向けたグラフィックスLSIの販売拡大、さらにはミドルウェア、機械学習/AI、ブロックチェーン、セキュリティの新規4領域における早期事業化に向けた活動に注力いたしました。また、新規事業の展開を加速させる観点から、アライアンスや出資の検討等を積極的に実施いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比2,039百万円増（同40.6%増）となる7,061百万円となりました。売上総利益は売上高の増収に伴い前年同四半期比674百万円増（同42.3%増）となる2,267百万円、売上総利益率は同0.4ポイント改善となる32.1%となっております。販売費及び一般管理費は、前年同四半期比314百万円増（同28.9%増）となる1,402百万円となりました。販売費及び一般管理費のうち研究開発費は、前年同四半期比229百万円増（同42.5%増）となる770百万円となっております。

以上により、営業利益は前年同四半期比359百万円増（同71.3%増）となる864百万円、経常利益は前年同四半期比369百万円増（同70.6%増）となる893百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比280百万円増（同66.5%増）となる701百万円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。また、下記セグメントのほか、各セグメントに配分していない全社費用が345百万円となっております。

① LSI開発販売関連

LSI開発販売関連は既存事業であるパチンコ・パチスロ機向け製品で構成されており、売上高は前年同四半期比1,947百万円増（同40.7%増）となる6,737百万円、セグメント利益は同332百万円増（同32.7%増）となる1,346百万円となりました。主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIは前年同四半期に対し2.8万个増加となる24.3万个の販売となったことに加え、メモリモジュール（注2）製品が採用顧客の好調な販売動向に支えられ、前年同四半期を大幅に上回る販売となりました。また、当第2四半期末の同セグメントの受注残高は17,013百万円となっております。なお、世界的な半導体の供給不足の影響から多くのメーカーにおいて部材を積極的に確保する動きを見せており、本受注残には来期以降の販売予定分が含まれております。

② 新規事業関連

新規事業関連は、組み込み機器向け製品に加え、ミドルウェア、機械学習/AI、ブロックチェーン、セキュリティ領域に向けたスタートアップ事業であり、機械学習/AI領域での売上高を中心に、売上高は前年同四半期比91百万円増（同39.6%増）となる323百万円、セグメント損失は同72百万円減（前年同四半期は208百万円の損失）となる135百万円となりました。

（注1）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当いたします。

（注2）「メモリモジュール」とは、パチンコ・パチスロ機の画像表示用基板に搭載される画像データを保持しておく部分の仕組みを意味しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末との比較で693百万円増加となる12,967百万円（前連結会計年度末比5.6%増）となりました。主な要因は、売掛金及び契約資産の増加（472百万円）、商品及び製品の増加（425百万円）に対し、現金及び預金の減少（82百万円）等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末との比較で423百万円増加となる2,068百万円（同25.7%増）となりました。主な要因は、買掛金の増加（557百万円）等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末との比較で270百万円増加となる10,899百万円（同2.5%増）となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（268百万円）等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は9,014百万円（前年同四半期比11.2%増）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりとなっております。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は300百万円（前年同四半期は555百万円の獲得）となりました。これは主に当第2四半期連結累計期間における税金等調整前四半期純利益（874百万円）、仕入債務の増加（557百万円）に対し、売上債権の増加（472百万円）、棚卸資産の増加（425百万円）、法人税等の支払額（116百万円）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により獲得した資金は48百万円（前年同四半期は53百万円の支出）となりました。これは主に投資事業組合からの分配による収入（74百万円）、子会社の清算による収入（35百万円）に対し、有形固定資産の取得による支出（38百万円）、投資有価証券の取得による支出（24百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は432百万円（前年同四半期は334百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額（431百万円）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想は、2022年9月21日に開示いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

なお、当第2四半期末のLSI開発セグメントの受注残高は17,013百万円となるなど、足元の受注動向は極めて高い水準を示しております。しかしながら、世界的なサプライチェーンの混乱は収束しておらず、当社製品をはじめとするパチンコ・パチスロ機構成部材の生産面への影響には不透明さが残っております。今後、当社製品をはじめとする生産面への見通しが判明し、2023年3月期の連結業績予想に対する修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,097	9,014
売掛金及び契約資産	1,039	1,512
商品及び製品	771	1,197
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	101	118
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	11,010	11,841
固定資産		
有形固定資産	105	108
無形固定資産		
のれん	29	23
その他	24	22
無形固定資産合計	53	46
投資その他の資産	1,104	970
固定資産合計	1,264	1,125
資産合計	12,274	12,967
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,094	1,652
未払法人税等	136	168
賞与引当金	—	44
その他	374	163
流動負債合計	1,605	2,028
固定負債		
資産除去債務	39	40
固定負債合計	39	40
負債合計	1,645	2,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,028	1,028
資本剰余金	882	884
利益剰余金	8,777	9,046
自己株式	△301	△279
株主資本合計	10,386	10,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	124
その他の包括利益累計額合計	166	124
新株予約権	27	31
非支配株主持分	49	63
純資産合計	10,629	10,899
負債純資産合計	12,274	12,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,021	7,061
売上原価	3,428	4,793
売上総利益	1,593	2,267
販売費及び一般管理費	1,088	1,402
営業利益	504	864
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	4
投資事業組合運用益	15	28
その他	0	0
営業外収益合計	19	32
営業外費用		
為替差損	0	3
その他	0	0
営業外費用合計	0	3
経常利益	523	893
特別利益		
会員権売却益	—	2
その他	—	0
特別利益合計	—	2
特別損失		
減損損失	—	1
会員権評価損	—	5
子会社清算損	0	14
特別損失合計	0	22
税金等調整前四半期純利益	522	874
法人税等	105	158
四半期純利益	417	715
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	421	701

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	417	715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	△41
その他の包括利益合計	△34	△41
四半期包括利益	382	673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	386	660
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	522	874
減価償却費	16	16
のれん償却額	5	5
株式報酬費用	17	15
受取利息及び受取配当金	△3	△4
投資事業組合運用損益 (△は益)	△15	△28
子会社清算損益 (△は益)	0	14
売上債権の増減額 (△は増加)	55	△472
棚卸資産の増減額 (△は増加)	250	△425
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△9	△9
仕入債務の増減額 (△は減少)	△209	557
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△56	△55
その他	11	△75
小計	585	413
利息及び配当金の受取額	3	4
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△34	△116
営業活動によるキャッシュ・フロー	555	300
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9	△38
無形固定資産の取得による支出	—	△2
投資有価証券の取得による支出	△57	△24
会員権の取得による支出	—	△6
会員権の売却による収入	—	10
投資事業組合からの分配による収入	16	74
子会社の清算による収入	—	35
その他	△2	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53	48
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△334	△431
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△334	△432
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	167	△82
現金及び現金同等物の期首残高	7,913	9,097
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	28	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,109	9,014

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の拡大状況や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	L S I 開発販 売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	4,789	231	5,021	—	5,021
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,789	231	5,021	—	5,021
セグメント利益又は損失 (△)	1,014	△208	806	△301	504

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△301百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	L S I 開発販 売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	6,737	323	7,061	—	7,061
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,737	323	7,061	—	7,061
セグメント利益又は損失 (△)	1,346	△135	1,210	△345	864

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△345百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他
最近における四半期毎の業績の推移
2023年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2022年4月～ 2022年6月	第2四半期 2022年7月～ 2022年9月	第3四半期 2022年10月～ 2022年12月	第4四半期 2023年1月～ 2023年3月
売上高	3,426	3,635	—	—
売上総利益	1,109	1,157	—	—
営業利益	343	521	—	—
経常利益	343	549	—	—
税金等調整前四半期純利益	346	527	—	—
四半期純利益	298	416	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	293	407	—	—
四半期包括利益	277	396	—	—
1株当たり四半期純利益	27.12円	37.59円	—	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	11,948	12,967	—	—
純資産	10,475	10,899	—	—
1株当たり純資産	959.68円	995.15円	—	—

2022年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2021年4月～ 2021年6月	第2四半期 2021年7月～ 2021年9月	第3四半期 2021年10月～ 2021年12月	第4四半期 2022年1月～ 2022年3月
売上高	2,340	2,680	3,224	2,420
売上総利益	736	856	1,134	788
営業利益又は営業損失(△)	195	309	444	△110
経常利益	198	324	449	28
税金等調整前四半期純利益	197	324	448	28
四半期純利益	154	262	400	52
親会社株主に帰属する 四半期純利益	158	263	394	50
四半期包括利益	156	226	368	71
1株当たり四半期純利益	14.63円	24.34円	36.43円	4.64円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	10,790	11,062	12,195	12,274
純資産	9,906	10,156	10,534	10,629
1株当たり純資産	913.12円	933.95円	967.95円	974.54円